

岐阜県「裏金」問題の真相究明と再発防止策等を求める意見書

岐阜県庁の「裏金」問題は、県民への信頼を大きく失墜させる重大な問題である。

公的機関の情報公開と説明責任が問われている時代にあつて、10年以上におよび巨額な公金が不正に支出され、また本年7月まで隠ぺいされ続けたことは、公務員意識の欠如と自浄能力の不在をさらしたばかりでなく、県民への背信行為である。

県当局におかれては、県議会が設置した「不正資金問題調査検討委員会」の答申を受け、「県政再生プログラム」において、裏金問題に関与した旧幹部や現職員の厳正なる処分と全額返還を強く要望し、県民の信頼を回復するために「裏金」問題の全容解明を徹底的に進め責任の所在を明らかにし、検証結果を全面的に公開するとともに、二度とこのような問題を起こさないための再発防止策を速やかに講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年 9月26日

可児市議会

岐阜県知事 古田 肇 様

岐阜県議会議長 白橋 国弘 様